



特集

地区懇談会を開催しました

4月19日(火)～5月13日(金)の10日間の日程で地区懇談会を開催し、各会場ともに当初予算の事業紹介を紹介した後に、質問、意見交換を行いました。

ご参加いただいた皆さまには、貴重な時間をさいいただき、ありがとうございました。

なお、意見交換会では、100件以上の質問や要望があり、次のような意見が寄せられました。



主な意見

防 犯 Q：地域において事件・事故も発生しており、防犯カメラの設置について検討していただきたい。

防 災 Q：災害はいつくるかわからないのにコロナを理由に防災訓練を中止することはおかしいのではないかと。

Q：どうして防災アプリケーションが必要なのか。

回答

A：来年度の更新に向けて、地区や関係機関の皆さまと協議し、防犯カメラの設置箇所等について改めて検討する。

A：昨年までは、コロナ禍で防災訓練を開催することは住民の理解を得られにくい状況であったが、本年度はコロナ対策を万全にして実施していく予定で準備している。

A：令和4年度に導入する防災アプリケーションでは、同報無線の内容をスマートフォンで確認できるようになる。また災害時には避難所情報も地図上で確認できる。

防 災 Q：防災用ヘルメットは個人が購入するのではなく村が各戸に配布してほしい。

Q：スマートフォン等を活用した防災・納税等のアプリは大変便利なツールではあるが、高齢者はじめ誰でも使いこなせるような環境を至急整備してほしい。

総合計画 Q：第4次総合計画は内容がわかりづらかったので、第5次総合計画では事業の内容を具体的にわかりやすくしてほしい。

福 祉 Q：福祉タクシーは75歳以上の方全員にタクシーチケットを配布されるのか。

道 路 Q：大型車両は進入禁止になっているのに進入してくる車両が多い。進入できない対策はできないか。

Q：村外の人にとっては飛鳥聖苑までの進入がわかりづらい。今後、飛鳥聖苑までの進入道路は整備されるのか。

消 防 Q：付近に消火栓がない場所に消火栓を設置してほしい。

住 宅 Q：渚住宅のような住宅地を新たに考えているか。

サービス Q：行政サービスに偏りがあるのではないかと。高齢者には手厚いサービスがあるが、その下の世代のサービスも充実させてほしい。

ご み Q：一部の外国人の村民にはごみの分別ルールが守られていないのでルールを遵守するように寮や事業所へ働きかけてほしい。

教 育 Q：住宅が途切れたり遠距離通学となる地区にはスクールバスの運行を検討していただきたい。

観 光 Q：飛鳥の魅力ある産業とは何か。弥富市の産業と言えば金魚もなか・文鳥等が有名であるが飛鳥の産業は知られていない。新しく魅力あるもの(づくり)を開発してはどうか。

A：ヘルメット・救命胴衣の助成で、防災意識の向上と自らの身を守るための防災用品を備えるきっかけにしていきたい。

A：アプリ導入の際には、老人クラブの例会などに出張して説明していきたいと考えている。

A：なるべく住民にわかりやすい第5次総合計画を策定していく。

A：タクシーチケットを必要とされる人はすこやかセンターで交付申請をしてもらう必要がある。

A：状況を把握し、関係機関に要望する。(後日、村長より蟹江警察署長へ取締りを依頼しました。)

A：国道302号の整備が完了すれば国道302号の側道を迂回せずに飛鳥大橋南の信号から東側へ乗り入れができるようになる。

A：設置が可能な場所については、海部南部消防組合と協議しながら順次設置していきたい。

A：新規住宅候補地の選定を進めている。

A：給食費の無償化をはじめとした子育て世代へのサービスの充実も目指していきたい。

A：ごみの分別ルールについて外国人の方に対しては企業の依頼があれば職員が出向いて説明等を行っている。広報とびしま・すこやかカレンダー等でごみの分別について掲載しているが、外国人の方に対しても周知がはかれる方策を考える。

A：国において適正な通学距離の目安が定められており、飛鳥学園は概ね基準内となっている。ご意見は、今後の検討課題としていきたい。

A：観光交流協会では、村外のイベントに参加して村の魅力を発信している。飛鳥村の米を使ったお酒やナイトクルーズの企画も準備し、村の魅力を知らせてもらえる事業を進めていく。

このほかにも、多数のご意見・ご要望・ご提案をいただきました。紙面の都合上、一部の紹介となりますが、いただきましたご意見等は、今後の村政運営に活かしてまいります。

●問合せ先 総務部総務課